

メタサイエンス シンポジウム

科学を捉える知見を、これからの政策へ

参加無料

事前のお申し込み
が必要です

CATALYST

Co-designing Analytic Tools and Approaches for
Leading Science, Technology and Innovation policy

2026

11.27 (金) 14:00-17:00

オンライン開催

AIの急速な進展など、科学を取り巻く環境が大きく変化しています。文部科学省では、より実効的かつ効率的に科学技術・イノベーション（STI）政策を推進していくために、新たなアプローチの創出に向けた有識者会議を設置し、来年度以降に向けた検討を進めているところです。

本シンポジウムでは、現在、文部科学省から概算要求中の新規研究事業「CATALYST」の構想を紹介し、今後の方向性について議論を行います。

プログラム

- 14:00 開会挨拶
清浦 隆
文部科学省科学技術・学術政策局 局長（予定）
- 14:05 STI政策の新たなアプローチに対する期待
小安 重夫
文部科学大臣科学技術顧問/
科学技術・イノベーション政策の新たなアプローチに
関する有識者会議 座長/
量子科学技術研究開発機構 理事長
- 14:10 CATALYSTの目的と背景
近藤 潤
文部科学省科学技術・学術政策局研究開発戦略課 課長
- 14:30 5つの重点領域
リレーセッション
パネルディスカッション
- 17:00 閉会

5つの重点領域

- 01 研究力
林 隆之
政策研究大学院大学政策研究科 /
東京科学大学I4C 教授
- 02 ファンディング
馬田 隆明
東京大学FoundX ディレクター
- 03 研究環境
小泉 周
北陸先端科学技術大学院大学
理事・副学長
- 04 イノベーション基盤
隅藏 康一
政策研究大学院大学政策研究科 教授
- 05 横断的課題
林 和弘
科学技術・学術政策研究所 上席フェロー /
データ解析政策研究室長

お申し込み

申込期限 2026年11月20日（金）

下記のウェブサイト、またはQRコードよりお申し込みください。

<https://www.ifeng.or.jp/wp/mext-metascience-symposium-2026/>

